

平成 25 年度事業方針

平成 25 年度は、昨年度に続き、職員の退職に伴う運営基盤の脆弱性が、より深刻な事態を迎えている。そこで、今年度は事務局体制の再整備を最優先に、あわせて事業の見直しなどを行っていく。その一環として、出前事業の強化・充実のために、独立したグループとのゆるやかな連携と事業の協力をしていく。また、理事および常任委員の事業担当について、関連する複数の事業を包括的に協議するためのグループ化など効率化を図るとともに、法人運営全体を見直していくために、経営戦略会議（仮称）を設立させ、事業と運営のあり方など、抜本的に組織経営についての検討を深めていく。

今年度の主な取り組みとして、昨年度に引き続き、中長期計画の具現化を行いながら、みんなの研修会で提案された事業について検討を行い、既存の活動と照らし合わせながら、実現の可能な視点、切り口で着手していく。

具体的には、ここ数年実施できていなかったボランティアグループの交流会や、日々のニーズ対応を個人で対応しているボランティアの経験交流の機会など、ボランティア活動の推進に力を入れていく。また、ここ数年の課題である余暇活動支援の強化についても、具体的に取り組んでいく。

遅れているホームページのリニューアルに伴う検討や、多様な方法での当協会についての発信、これらを障害当事者がより使いやすくなるような情報サポート事業の検討などにも取り組んでいく。

また、関係団体との連携強化による「協働」事業は、引き続き積極的にすすめていくとともに、バリアフリーに関する行政、民間、企業による意見交換の場づくりを通して、行政と民間で一緒につくる新しいカタチの具現化をさらにめざしていく。

1) 組織運営の基盤整備と中長期への展望

- ・組織の基盤整備と事務局体制の再整備と経営戦略会議（仮称）の設立
- ・理事および常任委員の事業担当の包括グループ化の検討、実施
- ・「ボラ協だからできること」を意識した中長期計画の具現化
- ・独立した出前事業グループとのゆるやかな連携と事業協力

2) 参加の機会づくりを意識した、ボランティア活動の推進

- ・ボランティアグループのお悩み交流会の開催
- ・ボランティア活動者の経験交流の機会の創出
- ・ボランティア活動の支援を行っている団体や機関の意見交換の機会づくり

3) 協働事業の戦略的な展開

- ・北九州市障害者自立支援協議会、障害福祉団体連絡協議会（障団連）との更なる連携強化（継続）
- ・草の根ネットワーク活動強化支援事業による支援（継続）
- ・行政、民間、企業によるバリアフリーのまちづくり推進協議会（仮称）の提案

平成 25 年度事業計画

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

[1] 障害者の地域生活支援事業（公益目的事業 1）

(1) 地域生活支援事業

- 1) Dreams come true（ドリカム）企画 夢プロジェクト
- 2) 障害児の長期休暇対策事業
- 3) モデル地域による障害福祉の支えあい啓発促進事業の検討・展開（継続）

(2) 情報支援事業

- 1) パソコンサポーター養成派遣事業
 - i) サポーター派遣事業
 - ii) サポーター養成講座
- 2) 北九州市障害福祉情報センター
 - i) 情報紙「ひこうせん未来」発行 年間 3 回 1000 部発行
 - ii) 「いべんと・アラカルト」発行 毎月 1 日 1000 部発行
 - iii) ホームページによる情報提供
- 3) 福祉技術コーディネーター育成事業

[2] ボランティア活動推進事業（公益目的事業 2）

(1) 相談紹介事業

- 1) 相談事業及びコーディネーション活動
 - 2) ケース検討会及びマネジメント会議
 - 3) 地域福祉を支える他機関・団体との連携
- ★ i) 市内ボランティア活動・NPO 活動推進機関との意見交換の場の促進

(2) ボランティア研修事業

- 1) ボランティア入門講座
- 2) みんなのための研修会
- 3) ボランティアグループとの共催による研修

(3) 交流会事業

- ★1) ボランティア活動者の経験交流会
★2) ボランティアグループのお悩み交流会

(4) 活動啓発事業

- 1) 北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会への参画
- 2) 障害者ボランティア活動参加促進事業
- 3) 民生委員や福祉協力員への障害福祉に関する特別サポート事業（継続）
- 4) インターネットを活用したボランティア活動の検討（継続）
- 5) ボランティア活動を通して余暇活動支援の検討（継続）

[3] 社会開発創造事業（公益目的事業 3）

(1) 提言活動事業

1)ユニバーサルデザイン社会の普遍化の促進

★i)行政、民間、企業によるバリアフリーのまちづくり推進協議会（仮）の提案

(2) 障害福祉普及啓発活動

1)会報「でんしょ鳩」の発行 隔月発行（偶数月6回）

2)ホームページによる情報提供

★3)多様な情報提供手段の検討

★i)使い方だけでなく、便利な情報提供も含めた情報サポート事業の検討

(3) 講師の出前事業

1)講師の出前事業(派遣事業)

2)講師のための学習会（育成事業）

3)相談及びコーディネーション活動

(4) 障害者の自己実現のための事業

★1)障害者の自己実現と社会参加のために余暇活動支援の強化

★2)出前事業の充実・強化のために独立したグループとの連携強化

[4] 連携促進事業（公益目的事業4）

(1) ネットワーク促進事業

1)福祉のまちづくりネットワークの運営

2)北九州市社協ボランティア・市民活動センターとの連携

3)北九州市障害者自立支援協議会の参画

4)わっしょい百万夏まつり「ふれあい広場」の運営

5)北九州市障害福祉団体連絡協議会の参画

6)東日本大震災に伴う連携事業

i)東日本大震災支援全国ネットワークへの参加

(2) 企業との協働促進事業

1)企業との協働相談及びコーディネーション活動

2)協働研修事業の企画・運営

(3) 草の根ネットワーク活動強化支援事業

1)「障害者活動支援資金」を原資に基盤強化の支援事業の実施

[5] 組織基盤事業

(1) 組織運営

1)定期総会 1回（5月）

2)理事会 3回（4月・10月・3月）

3)運営戦略会議 毎月1回(第四水曜日)

4)広報戦略会議 隔月（でんしょ鳩発行後）

★5)経営戦略会議 隔月予定

6)常任委員会 毎月1回(第二水曜日)

(2) 中長期計画の具現化

★1)中長期計画に基づく2年目の取り組みの展開

(3) 総務

1)法人の事業概要「はばたき」の発行

2)共催・後援・協力事業・出席・派遣・参加等